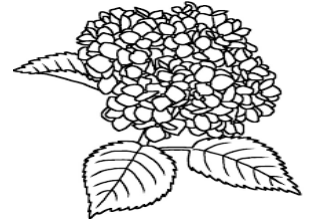




考えて行動する力を

校長 浅見 正史

月日の経つのは早いもので、明日から6月です。6月は学校総合体育大会、体育祭、期末テスト、修学旅行と行事等が盛りだくさんです。何事も計画的に準備をし、特に3年生は学校総合体育大会壮行会での「応援歌」を思い出し、悔いを残すことないように取り組んでください。



生徒の皆さん、次のイソップ童話の「子どもとカエル」を読んで、考えてみてください。

イソップ童話「子どもとカエル」より

ある日のこと、子どもたちが池のそばで遊んでいました。面白半分に、水の中へ、石を投げはじめました。ところが、池の中には、たくさんのカエルがいたので、子どもたちの投げた石にあたって、カエルはひどいケガをしました。一匹のカエルが「石を投げるのだけはやめて下さい。」と、言いました。子どもたちは、「ぼくたちは何も悪いことはしていない。ただ、石を投げて遊んでいるだけだ。」と、答えました。しかし、カエルは「みなさんが遊び半分に投げる石で、私たちはひどいケガをします。遊び半分にすることで、他人の命にもかかわるような迷惑がかかります。」と、言いました。

もし、子どもとカエルのやり取りを近くで見えていたら、これは遊びなのか、いじめなのか。皆さんはどう考え、どのような行動をとりますか。(続きは6月10日の校長朝礼で、キーワードはピンクです。)

いじめが発生しやすい時期は6月と11月と言われています。どうすればいじめをなくすることができるのでしょうか。どうすればいじめを見過ごさない学校・学級の雰囲気をつくれるのでしょうか。そのためには、皆さん一人ひとりの力が必要であり、相手を思いやる気持ちを心に、行動をしてください。また、6月は、さいたま市立学校で「いじめ撲滅強化月間」として、いじめの未然防止に向けた取組が行われます。本校でも校長朝礼での講話、各学級でのいじめ撲滅スローガンづくりなどを実施します。保護者をはじめ地域の皆様も、この活動にご理解とご協力をいただき、何か気になることがあれば学校に連絡をお願いいたします。

5月22日(水)に本校で第1回学校運営協議会を開催いたしました。内容は、学校運営に関する基本方針(教育課程編成や学校運営計画等)について、説明、質疑応答後、全委員より承認を得ました。また、「生徒に身に付けさせたい力」を議題とし、身に付けてほしい力について、ご意見をいただきました。

○授業等で相手の考えや自分の考えを发表する中でのコミュニケーション能力、問題解決能力

○体験活動の中での考える力や伝える力

○ボランティア活動や避難所運営訓練などに主体的に参加する力 など

これらの力を身に付けさせていくため、授業ばかりではなく、すべての学校生活において、生徒が自ら考え、発信し、活躍できる機会(場)を学校は増やしていきたいと思ひます。